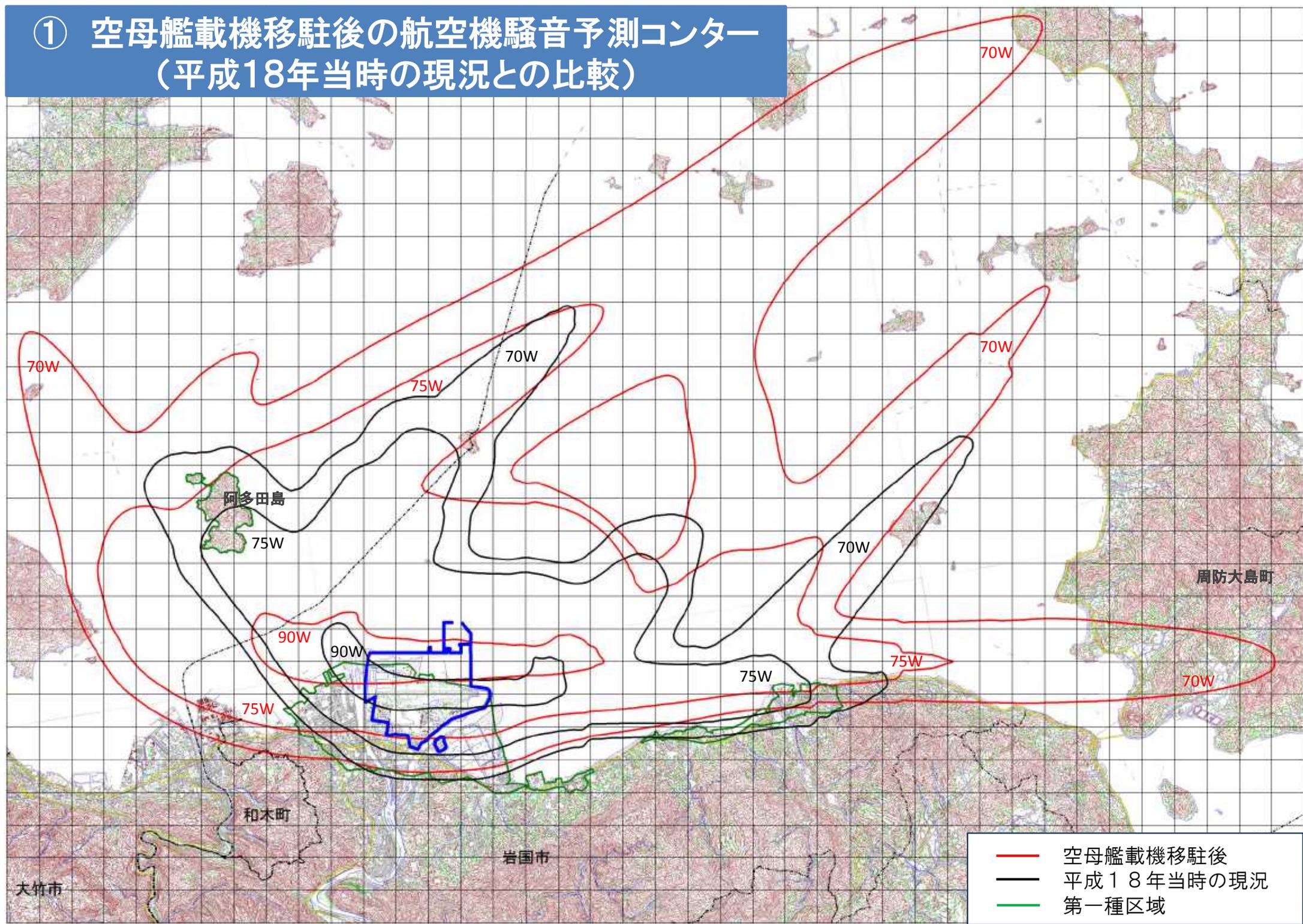


空母艦載機の移駐に係る 航空機騒音予測コンターについて

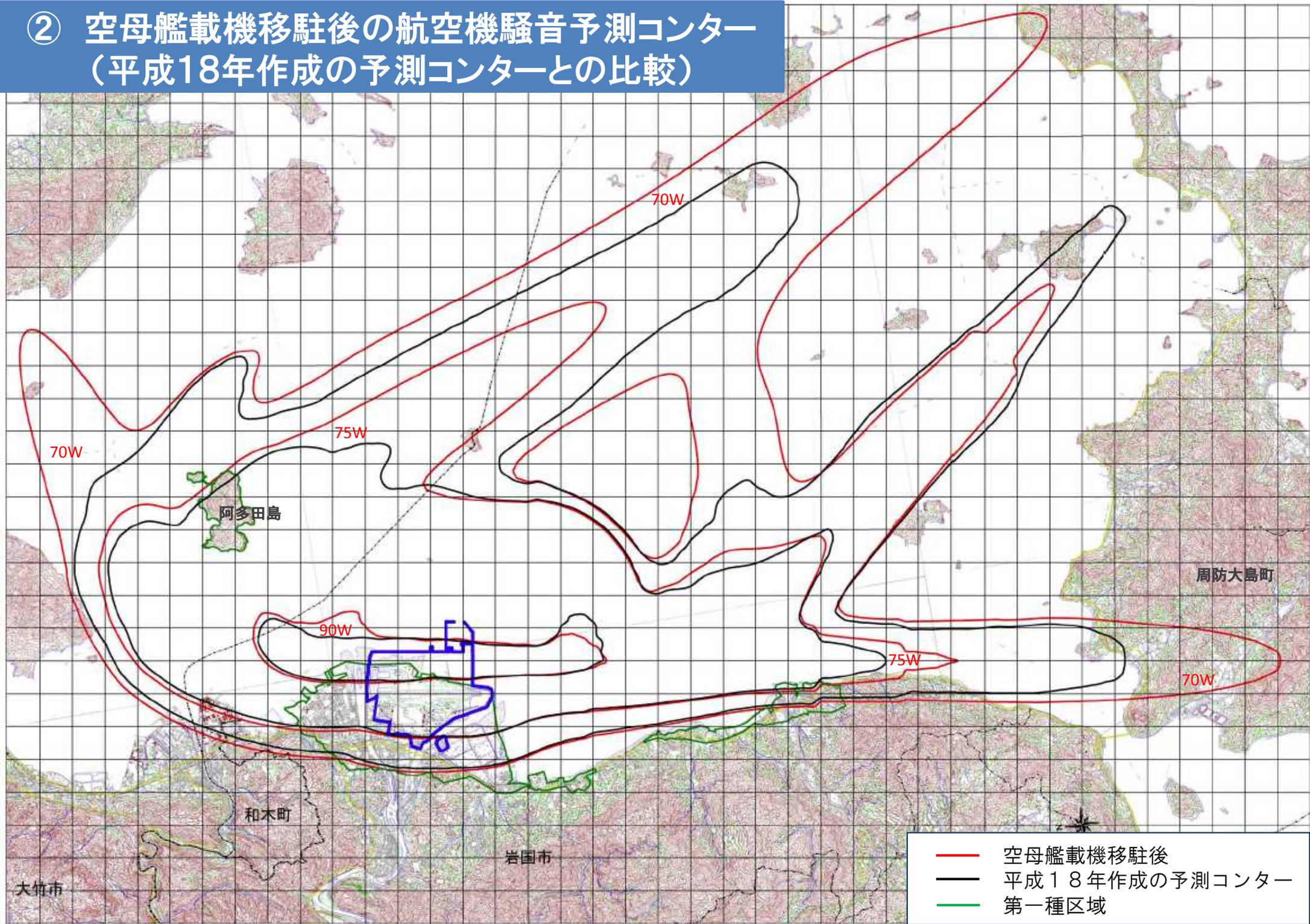
平成29年1月

防衛省

① 空母艦載機移駐後の航空機騒音予測コンター (平成18年当時の現況との比較)



② 空母艦載機移駐後の航空機騒音予測コンター (平成18年作成の予測コンターとの比較)



— 空母艦載機移駐後
— 平成18年作成の予測コンター
— 第一種区域

平成18年当時の主な変更点

	平成18年作成	今回作成
空母艦載機の機種・機数	FA-18C/E/F 49機 EA-6B 4機 E-2C 4機 C-2 2機 計59機	FA-18E/F 48機 EA-18G 6機 E-2D 5機 C-2 2機 計61機 (2機増)
1日の標準飛行回数 (うち、空母艦載機)	389回 (空母艦載機:130回)	458回 (69回増) (空母艦載機:145回 15回増) (69回増の内訳 ○空母艦載機の増 (+15回) ○海自残留[17機] (+56回) ○KC-130の増[12機→15機] (+5回) ○F-35B更新 (▲15回) ○その他(機数・機種の変更) (+8回))

※ EA-18Gは、FA-18E/F(スーパーホーネット)の騒音データを使用
 E-2Dは、E-2Cの騒音データを使用